

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第33週(8/14~8/20)【COVID-19情報】

令和5(2023)年8月24日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点当たりの報告数は、18.0で今週/先週比は1.29と先週より増加しました。年齢別では60歳代および70歳以上で増加傾向が見られます。保健所別では、草津、彦根保健所圏域で増加が見られ、他の保健所圏域では横ばいとなっています。
- ・咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する(咳エチケット)、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。重症化リスクが高い方(高齢者、基礎疾患がある方等)と会う場合は、特に感染対策をお願いします。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数(COVID-19は60)で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(例:1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

疾病名	滋賀県			保健所別							全国(前週)
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	15.23	14.00	18.00	25.67	17.08	14.14	11.30	27.71	10.71	17.00	14.16

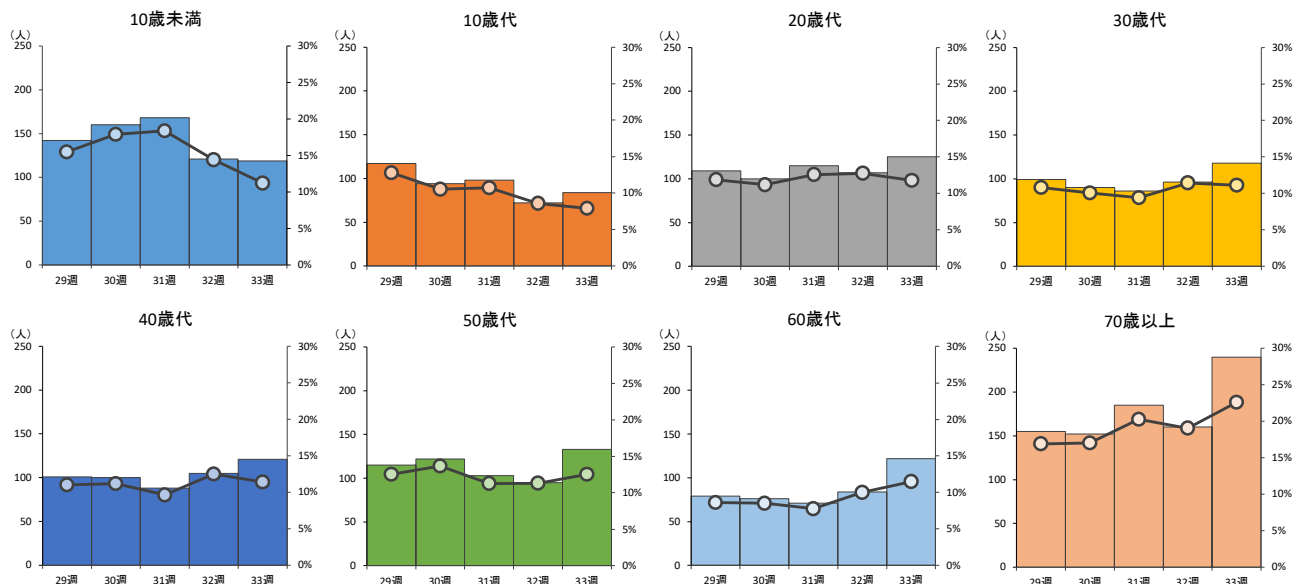
3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

「-」:報告なし

COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
滋賀県(60医療機関*)	1062	17	13	16	14	9	6	8	7	8	10	11	37	47	125	118	121	133	122	125	115
大津市保健所(13医療機関*)	308	3	1	-	4	2	2	2	1	1	3	3	3	21	36	42	38	40	40	35	31
草津保健所(13医療機関)	222	3	3	7	2	2	3	3	1	4	-	3	5	8	29	33	28	28	21	19	20
甲賀保健所(7医療機関)	99	2	3	-	1	2	-	-	1	-	1	1	4	8	7	8	10	6	13	12	20
東近江保健所(10医療機関)	113	2	4	6	5	-	1	1	2	2	2	-	5	2	14	9	8	15	7	17	11
彦根保健所(7医療機関)	194	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	4	10	6	27	19	28	26	28	23	19
長浜保健所(7医療機関)	75	5	1	-	2	1	-	1	2	1	3	-	6	1	4	3	6	13	8	11	7
高島保健所(3医療機関)	51	2	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	8	4	3	5	5	8	7

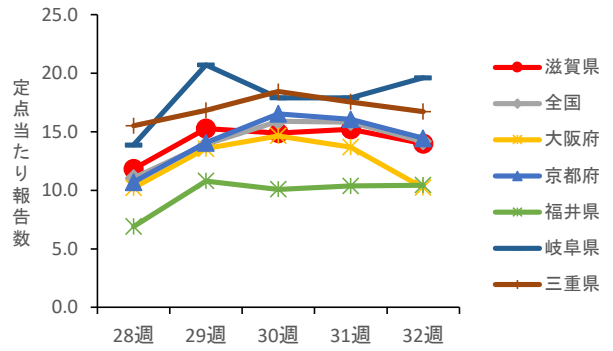
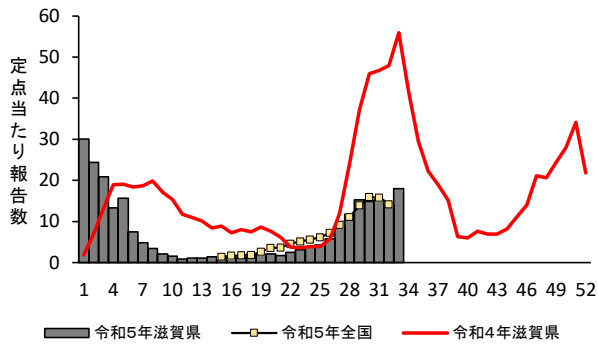
4. COVID-19の年齢階級別推移(滋賀県)

棒グラフ(左軸):報告数(人) 折れ線グラフ(右軸):全年齢に占める割合(%)

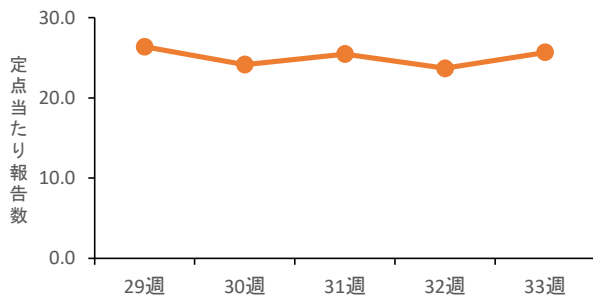


※第33週(今週)の定点数は、滋賀県59医療機関、大津市12医療機関となっています。

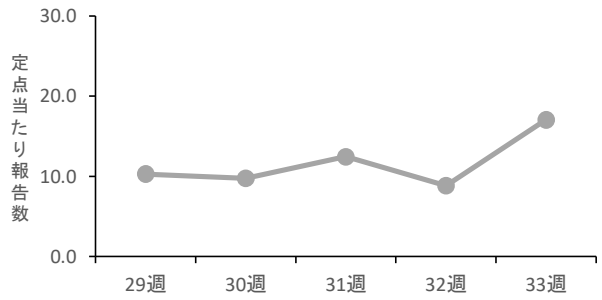
## 5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



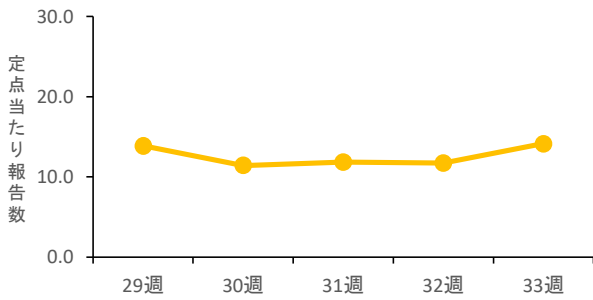
大津市



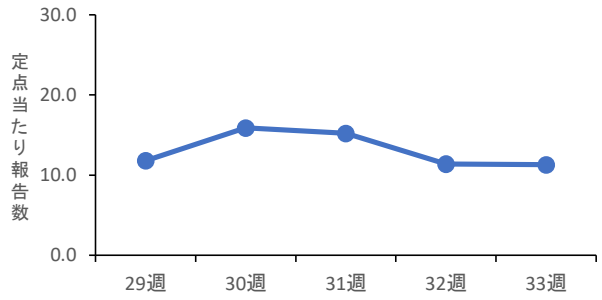
草津



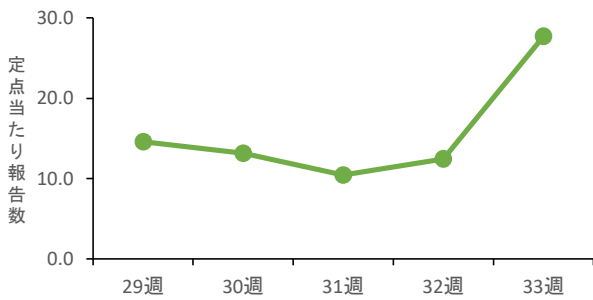
甲賀



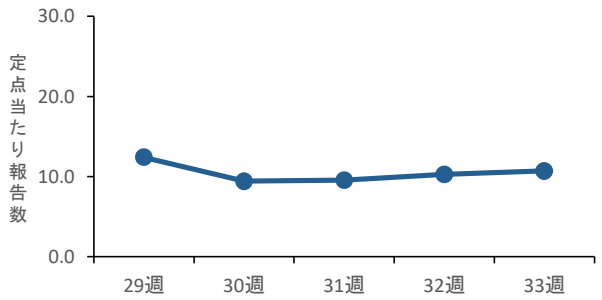
東近江



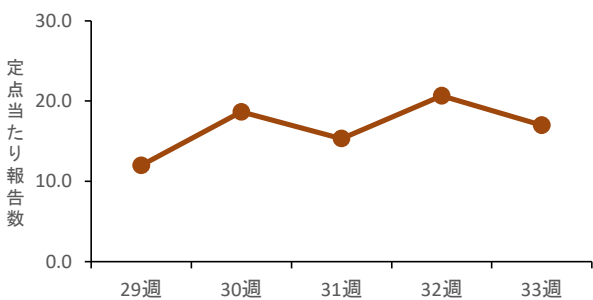
彦根



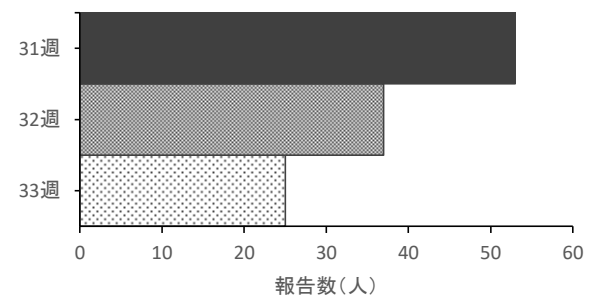
長浜



高島



学校欠席者情報収集システム(滋賀県)



# 変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課作成  
8月20日時点

- 世界的にはXBB.1.16系統が21.1%、EG.5系統が21.1%、XBB.1.9.1系統が14.7%、XBB.1.5系統が11.0%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 156 published 17 August 2023)
- 全国的にはEG.5系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年6月に検出された。
- 滋賀県では、令和5年7月時点ではXBB系統が全体の87.1%(うちXBB.1.16系統は29.3%、EG.5系統は15.6%、XBB.1.9.1系統は13.6%、その他XBB系統は28.6%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- WHOは、XBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統を注目すべき変異株として指定したが、入院患者数や死亡者数が増加しているとの情報はない。今後の発生動向を注視する必要がある。(WHO adds Omicron EG.5 to variant monitoring as global COVID markers decline further Lisa Schnirring, July 21, 2023)

## ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

